

# 伊勢神宮地内から出土した 石製模造品が集結

## 神宮おひざもとの古墳出土品、 三重県里帰り

古代から中世にかけて、天皇の代わりに伊勢神宮に祈りを捧げるために遣わされた皇女・斎王。斎王は年に三度、伊勢神宮での祭祀に参列するほか、斎宮で祈りを捧げる日々を過ごしたと考えられています。

伊勢神宮は、国家の安寧のために天照大神を奉斎し、神への祈りの形は、今も行われている日々の諸行事や、20年に一度の式年遷宮からうかがうことができます。

本展では、祭祀の原風景にまつわる石製模造品や神への祈りを形にしてあらわした宝物に着目し、関連した考古遺物などから、伊勢神宮と斎宮の深いつながりをたどります。



松浦武四郎旧蔵資料 馬角(静嘉堂文庫美術館蔵)



皇大神宮境内出土臼玉(東京国立博物館蔵)※



大阪府今城塚古墳出土大刀形埴輪(高槻市立今城塚古代歴史館蔵)

奈良県植山古墳出土歩搖付金具(歴史に憩う橿原市博物館蔵)



三重県薬師谷14号墳出土 水晶原石・三輪玉  
(津市埋蔵文化財センター蔵)  
(写真提供:島根県立古代出雲歴史博物館)



三重県伊勢市塚山古墳出土 長方形鏡板付櫛  
(東京国立博物館蔵)※



三重県伊勢市塚山古墳出土 飾金具(東京国立博物館蔵)※  
※ Image: TNM Image Archives

### ◆記念講演会 13時30分から15時まで(開場・受付は13時)

- ① 2月8日(日)「文献が語る伊勢神宮、そして斎宮」  
遠藤 慶太 氏(皇學館大学 教授)
- ② 3月1日(日)「考古学が語る多気、度会、そして伊勢神宮」  
穂積 裕昌 氏(三重県埋蔵文化財センター 所長)

#### 〈共通事項〉

会 場:斎宮歴史博物館 講堂 /定 員:120人

#### 申込方法:

##### 【往復はがきの場合】

往復はがきに住所、氏名(ふりがな)、電話番号を明記の上、下記申込み先までお申し込みください。

※ 申込みは、はがき1枚につきお一人様とさせていただきます。

##### 【電子申請システムの場合】

三重県ホームページの「三重県電子申請・届出システム」

〈[https://apply.e-tumo.jp/pref-mie-u/offer/offerList\\_initDisplay](https://apply.e-tumo.jp/pref-mie-u/offer/offerList_initDisplay)〉からお申し込みください。

※ 申込みは1申請につきお一人様とさせていただきます。

#### 募集期間(締切日必着):

- ① 1月7日(水)から1月27日(火)まで(結果は2月初め発送・発信)
- ② 1月29日(木)から2月19日(木)まで(結果は2月下旬発送・発信)

#### 申し込み・問い合わせ先:

斎宮歴史博物館 記念講演会係

〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川1503

電話 0596-52-3800(代表)

### ◆展示解説会

日 時: 2月14日(土)、2月28日(土)

いずれも13時30分から14時30分まで(終了時刻は予定)

会 場:斎宮歴史博物館 特別展示室

参加方法:事前申し込み不要(当日の企画展観覧券が必要)

### ◆関連講座「さいくうミュージアム講座」

第8回「石に魅せられた いにしえびと」

日 時: 2月21日(土) 13時30分から14時30分まで

会 場:斎宮歴史博物館 講堂

講 師:山中由紀子(斎宮歴史博物館職員)

参加方法:事前申し込み不要

定 員:120人

その他:講座後に、冬季企画展の展示解説会を開催

(参加には、開催日の企画展観覧券が必要)



日本遺産 祈る皇女斎王のみやこ 斎宮  
齋宮歴史博物館  
SAIKU HISTORICAL MUSEUM